

個人投資家様向け会社説明会



2022年 12 月
多木化学株式会社
経営企画部 IR室
証券コード：4025

本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 業績・財務状況

3. 株主還元・株価推移

4. 成長戦略

5. サステナビリティへの取り組み

6. よくあるご質問 Q&A

本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 業績・財務状況

3. 株主還元・株価推移

4. 成長戦略

5. サステナビリティへの取り組み

6. よくあるご質問 Q&A

1. 会社概要

グループ理念

多木化学グループは創業者精神に則り自然と環境を守り
確かな価値の創造を通じて豊かな社会の実現に貢献します

社 名：多木化学株式会社
(英文社名：Taki Chemical Co., Ltd.)

本社所在地：兵庫県加古川市別府町緑町2番地

設 立：1885年3月 創業137年

代 表 者：代表取締役社長 多木 隆元

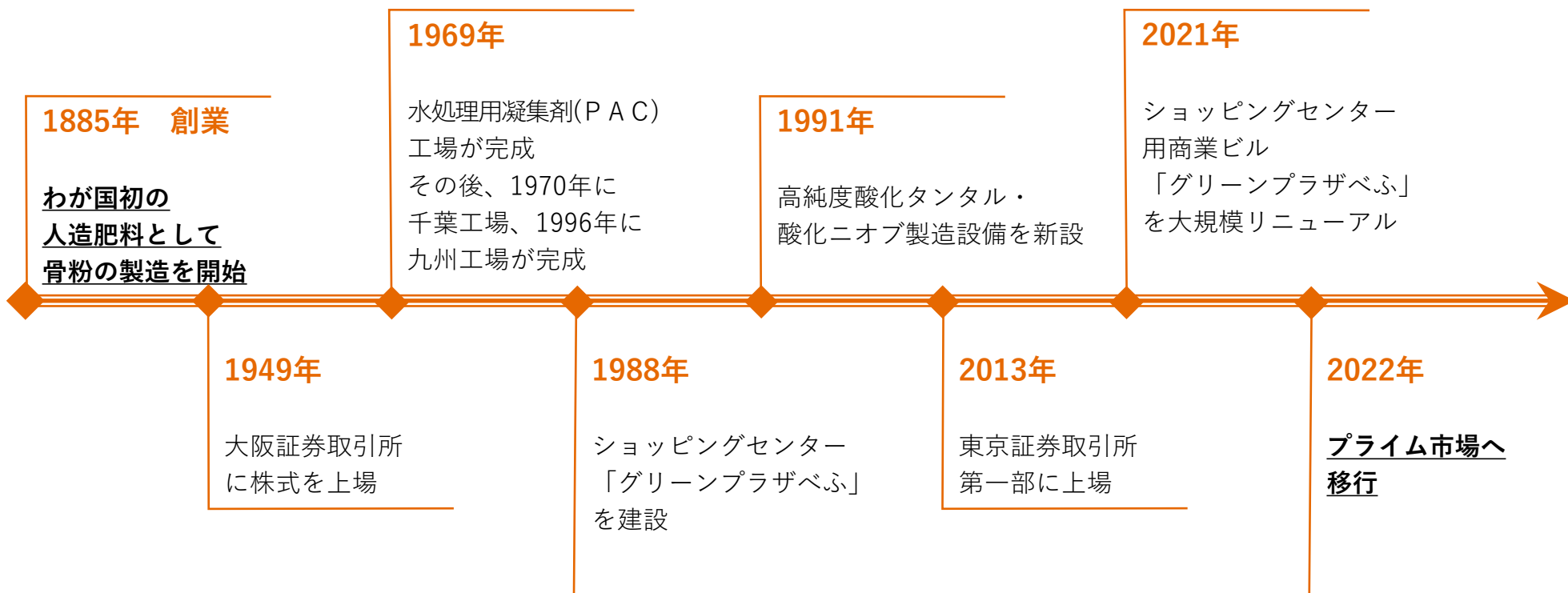
上場取引所：(東証)プライム市場
(証券コード：4025)

社章：「神代鍬印」



1. 会社概要 –創業から現在まで–

沿革(主な出来事)



—— 創業137年の長い歴史

1. 会社概要

数字で見る多木化学

生産拠点

3 箇所

事業所数

6 箇所

資本金※

21.47 億円

総資産※

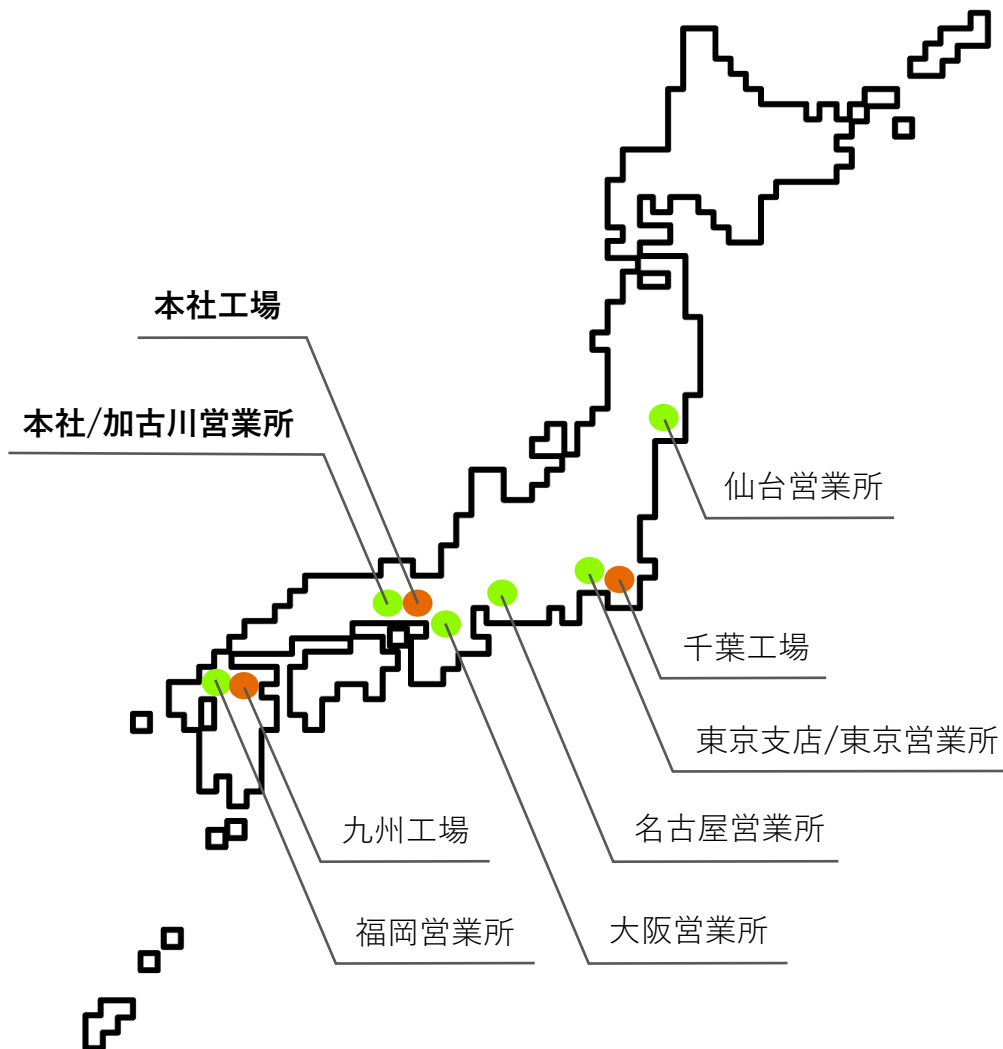
460.37 億円

取引先数

約 6,000 社

連結従業員数※

598 人



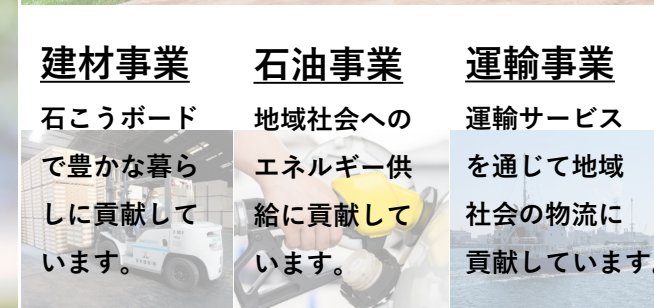
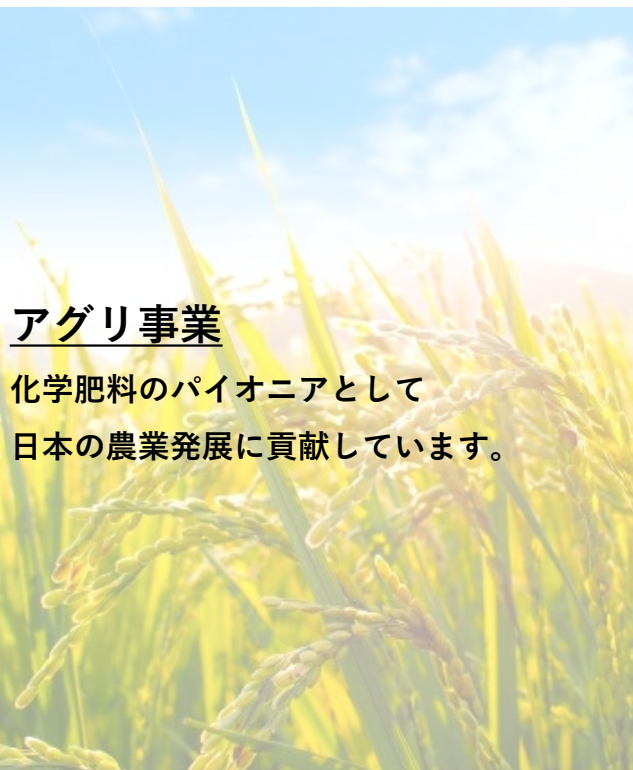
※ 2021年12月末現在

6

1. 会社概要 -事業紹介-

事業分野

- ◆ 6セグメントで構成
- ◆ 長年蓄積した化学のチカラで、時代が求める豊かさを育む



1. 会社概要 –グループ概要–

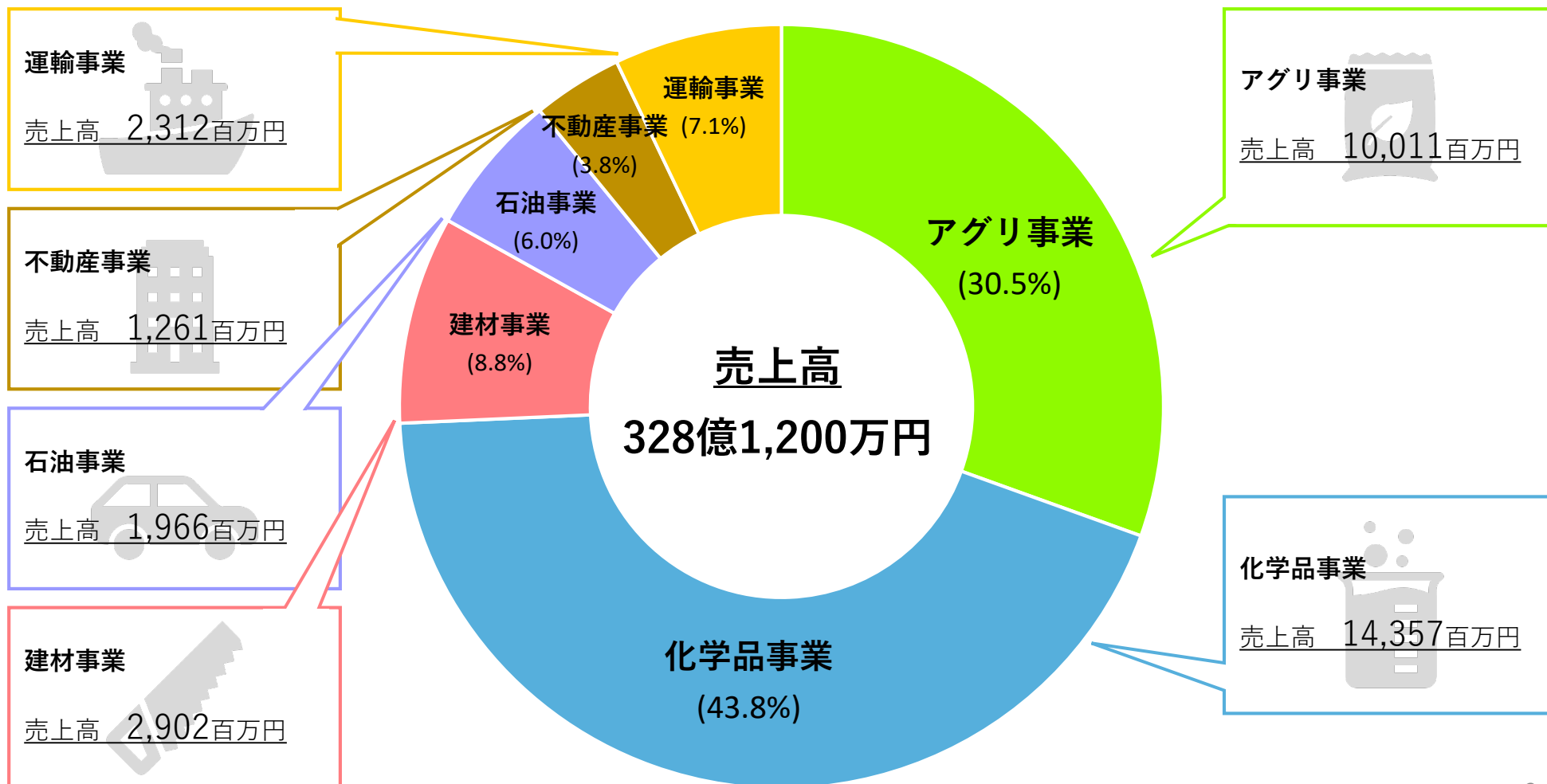
事業構成・グループ組織図(2021年12月期)

多木化学グループ

アグリ事業	化学品事業	建材事業	石油事業	不動産事業	運輸事業
多木化学(株)	多木化学(株)	多木建材(株)	しき島商事(株)	多木化学(株) 別府鉄道(株)	多木商事(株) 多木物流(株)
6社 (非連結子会社、 関連会社合計)		他1社 (関連会社)	他2社 (非連結子会社、 関連会社合計)	他2社 (非連結子会社)	他3社 (非連結子会社、 関連会社合計)

1. 会社概要 -事業紹介-

セグメント売上高構成比(2021年12月期)



1. 会社概要 –事業紹介–

セグメント別売上高、利益または損失(連結)※

(百万円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額 (注2)
	アグリ	化学品	建材	石油	不動産	運輸	計		
売上高									
外部顧客への売上高 ①	10,011	14,357	2,902	1,966	1,261	2,312	32,812	–	32,812
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	54	–	128	74	497	755	▲755	–
計	10,012	14,412	2,902	2,095	1,336	2,809	33,568	▲755	32,812
セグメント利益 (▲はセグメント損失) ②	917	2,475	▲4	12	635	249	4,285	▲1,627	2,658

◆セグメント別売上高利益率

(%)

セグメント別売上高利益率 (調整額含まず) ②/①	9.2	17.2	-	0.6	50.4	10.8	13.1	-	8.1
------------------------------	-----	------	---	-----	------	------	------	---	-----

(注) 1. セグメント利益 (▲はセグメント損失) の調整額▲1,627百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等

2. セグメント利益 (▲はセグメント損失) は、連結損益計算書の営業利益と調整

1. 会社概要 – アグリ事業 –

セグメント詳細

主な事業内容

- ・ 肥料・土壌改良材等の製造・販売

当社の強み

- ・ **農事技師による栽培指導**
- ・ 土壌診断に基づく最適な**施肥設計**
- ・ **約600種類の豊富な品揃え**と確かな品質
- ・ 北海道から沖縄まで**全国約1,300の特約販売店網**を通じた販売体制
- ・ 特約店会、技術研修会による情報提供・共有



1. 会社概要 – アグリ事業 –

YouTubeチャンネル「肥料の寺子屋」



特長

- ・ 農家様に向けた専門チャンネル
- ・ 肥料の効果的な使用方法を中心に様々な情報を発信



多木肥料 肥料の寺子屋
チャンネル登録者数 295人

チャンネル登録



「減肥」マル秘穴肥施肥で省力多収



こんな方法あったの！ 芝の低コスト液肥散布



高温期の育苗は、タキシリカで決まり



肥料の一振りでも米がとれる、暑い夏こそ穂肥をやろう



会社説明動画 | 多木化学株式会社

URL <https://www.youtube.com/channel/UChaWsdgZpnzkdTgJLZ-rKwg>

12

1. 会社概要 –化学品事業(水処理薬剤)–

セグメント詳細

主な事業内容

- ・ 水処理薬剤の製造・販売および関連資材の販売



当社の強み

- ・ 本社(兵庫)、千葉、福岡の**自社3工場**による生産体制
- ・ SP(ストックポイント)への船出荷などによる広域供給体制
- ・ 官民さまざまな施設への採用実績と適応ノウハウ
- ・ 原水に最適な凝集剤と量を提案する**技術営業力**
- ・ 高性能で環境負荷の少ない新規水処理凝集剤

超高塩基度ポリ塩化アルミニウム(PAC700A)

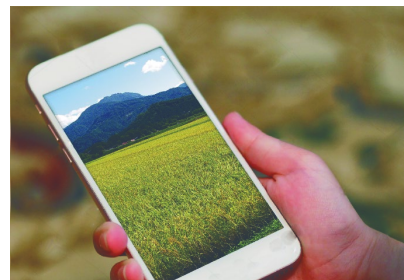


1. 会社概要 –化学品事業(機能性材料)–

セグメント詳細

主な事業内容

- ・ 各種機能性材料の製造・販売



当社の強み

- ・ 当社の製品は、スマートフォンや自動車排ガス触媒、製鉄、歯磨、医療用材料、化粧品など、**生活インフラ**をはじめ、身の回りの製品の製造に用いられる。
- ・ 中でも自動車関連セラミック繊維向け高塩基性塩化アルミニウムやスマートフォンなどに使用される高純度酸化タンタルは**高いシェア**を有している。

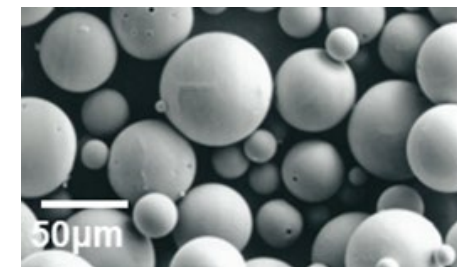


1. 会社概要 –化学品事業(成長が期待される製品群)–

セグメント詳細

主な事業内容

- ・ 生分解性ポリマー、酸化物ゾル、3重らせんコラーゲンの製造・販売



当社の強み

- ・ 生分解性ポリマー

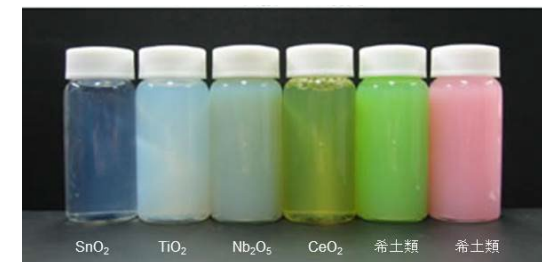
医薬品原料、医療用材料として最高品質の高純度生分解性ポリマーを開発、医薬品から医療機器までさまざまな用途に広く適用可能

- ・ 酸化物ゾル

ナノサイズの酸化物粒子を分散させた液体。光触媒、帯電防止、紫外線吸収、導電性、触媒助剤などのさまざまな機能を付与

- ・ 3重らせんコラーゲン

化粧品原料のほか、**膜、多孔体、繊維状などの形状に加工可能**



1. 会社概要 –不動産事業–

セグメント詳細

主な事業内容

- ・ 商業ビルや不動産の賃貸

当社の強み

- ・ **社有地**を活かした不動産開発
- ・ 加古川市南東部エリアの**商業地域の中心**
- ・ 地域のニーズやコミュニティの特性を考慮した
住み続けられるまちづくりへの貢献



1. 会社概要 –その他事業(連結子会社関係)–

セグメント詳細

建材事業：主な事業内容

石こうボードの製造・販売

火力発電所で発生する副生石こうや、建築現場からのボード端材の一部を有効活用し、石こうボードを製造・販売。



石油事業：主な事業内容

石油製品の販売、車検整備

サービスステーションでの石油製品の販売を中心に、自動車の点検・整備・修理及び販売を担う。



運輸事業：主な事業内容

海上および陸上輸送、倉庫業

一般港湾運送事業、港湾荷役業、船運送業、内航海運業、倉庫業、通関業、トラック運送業を担う。



1. 会社概要 –多木化学の「〇〇初」–

化学のチカラで、豊かさを育む

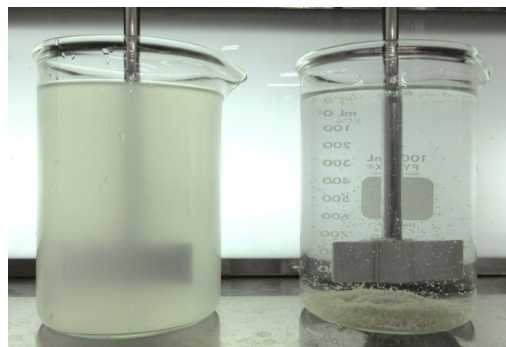
◆ 日本初の
人造肥料の開発に成功



◆ 世界初のバカマツタケの完全人工栽培※
に成功



左：処理前
右：処理後



◆ 世界初の水処理用の無機系凝集剤
ポリ塩化アルミニウム「PAC」の開発に成功

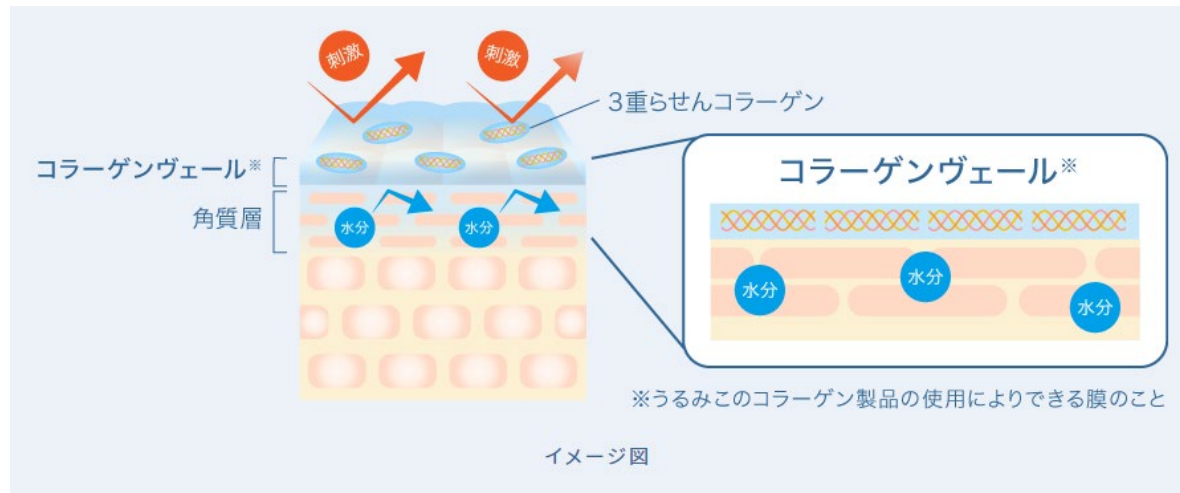
※ 天然のきのこから分離した菌株を、植物と共生せず、室内の人工栽培環境下のみできのこを得る方法

1. 会社概要 – 研究開発トピックス–

新化粧品ブランド「うるみこ(Urumico)」の開発

特長

- ・ ヒトに感染するウイルスの心配がない安心・安全な魚由来のコラーゲンを開発
- ・ 生体内と同じ構造をもつ3重らせん構造のコラーゲンを製品化
- ・ 原料メーカーならではの品質へのこだわり
- ・ 高い水分保持力で長時間肌の潤いを保ち、バリア機能をサポート



URL <https://urumico.jp/>

1. 会社概要

当社ウェブサイト

- ◆ 当社の最新情報をわかりやすく紹介しています。
- ◆ 製品・会社紹介のほか、CSR報告書や「サステナビリティビジョン2030」などの各種財務・非財務データを掲載しています。



URL <https://www.takichem.co.jp/index.html>

本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 業績・財務状況

3. 株主還元・株価推移

4. 成長戦略

5. サステナビリティへの取り組み

6. よくあるご質問 Q&A

2. 業績・財務状況

2021年12月期 業績概要(連結)

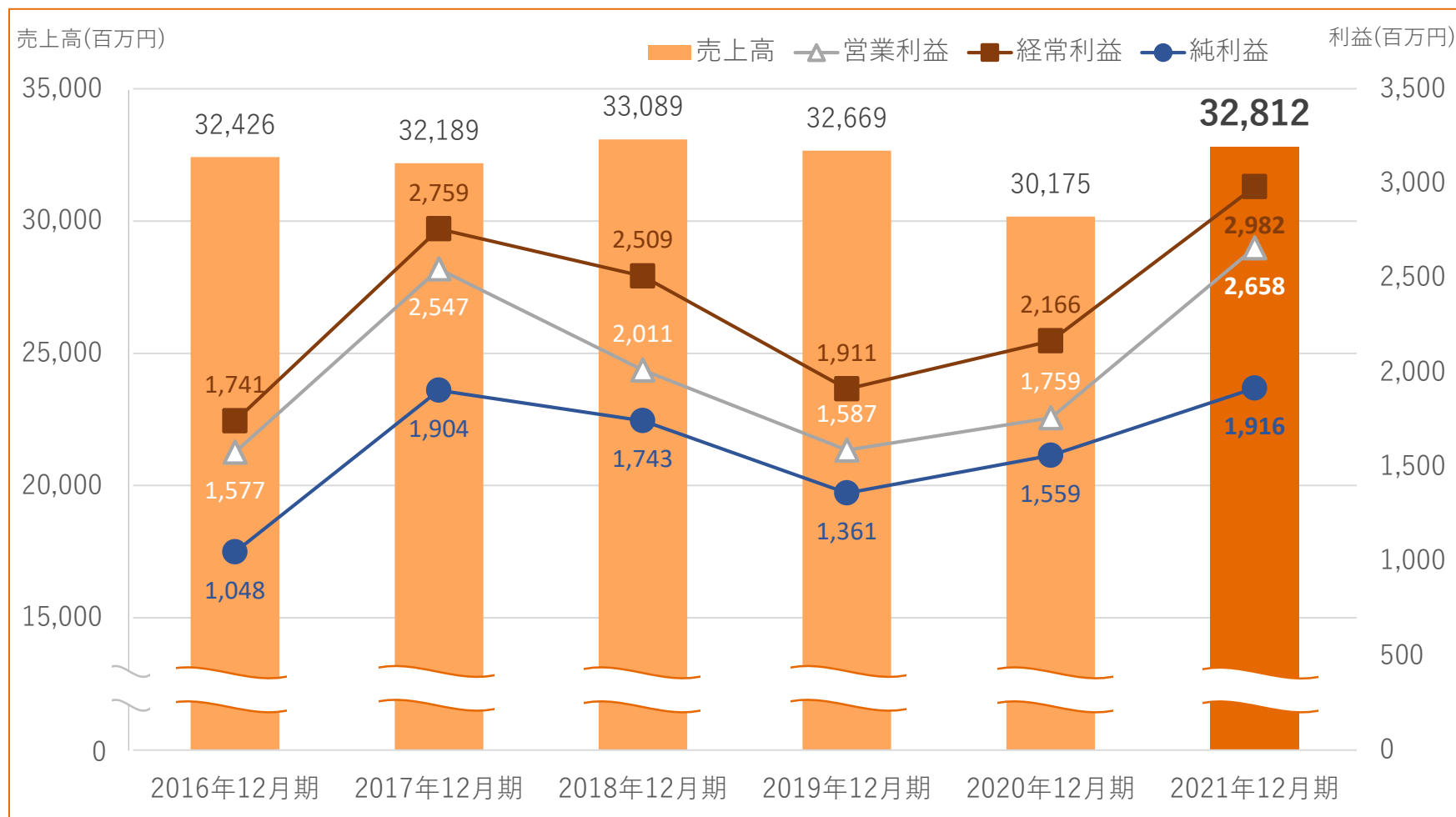
(百万円)

	2020年12月期	2021年12月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	30,175	32,812	+2,637	+8.7%
営業利益	1,759	2,658	+898	+51.0%
経常利益	2,166	2,982	+815	+37.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,559	1,916	+356	+22.9%

- ◆売上高は、前期比+2,637百万円（+8.7%）の増収。
- ◆営業利益は、前期比+898百万円（+51.0%）の増益。
- ◆経常利益は、前期比+815百万円（+37.6%）の増益。
- ◆親会社に帰属する当期純利益は、前期比+356百万円（+22.9%）の増益。

2. 業績・財務状況

2021年12月期 業績概要(連結)



2. 業績・財務状況

主要経営指標等※1

自己資本当期純利益率
(ROE) **6.8**%

有形・無形
固定資産
の増加額 **3,294**百万円

総資産経常利益率
(ROA) **6.7**%

減価償却費 **1,188**百万円

売上高営業利益率 **8.1**%

EBITDA※2 **3,846**百万円

※1 2021年12月末現在(データは連結)

※2 「営業利益+減価償却費(のれんを含む)」にて算出

2. 業績・財務状況

キャッシュ・フロー関連指数の推移(連結)※

自己資本比率

63.5%

キャッシュ・フロー対有利子負債比率

1.0年

時価ベースの自己資本比率

109.0%

インタレスト・カバレッジ・レシオ

222.1倍

※ 2021年12月末現在(データは連結)

本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 業績・財務状況

3. 株主還元・株価推移

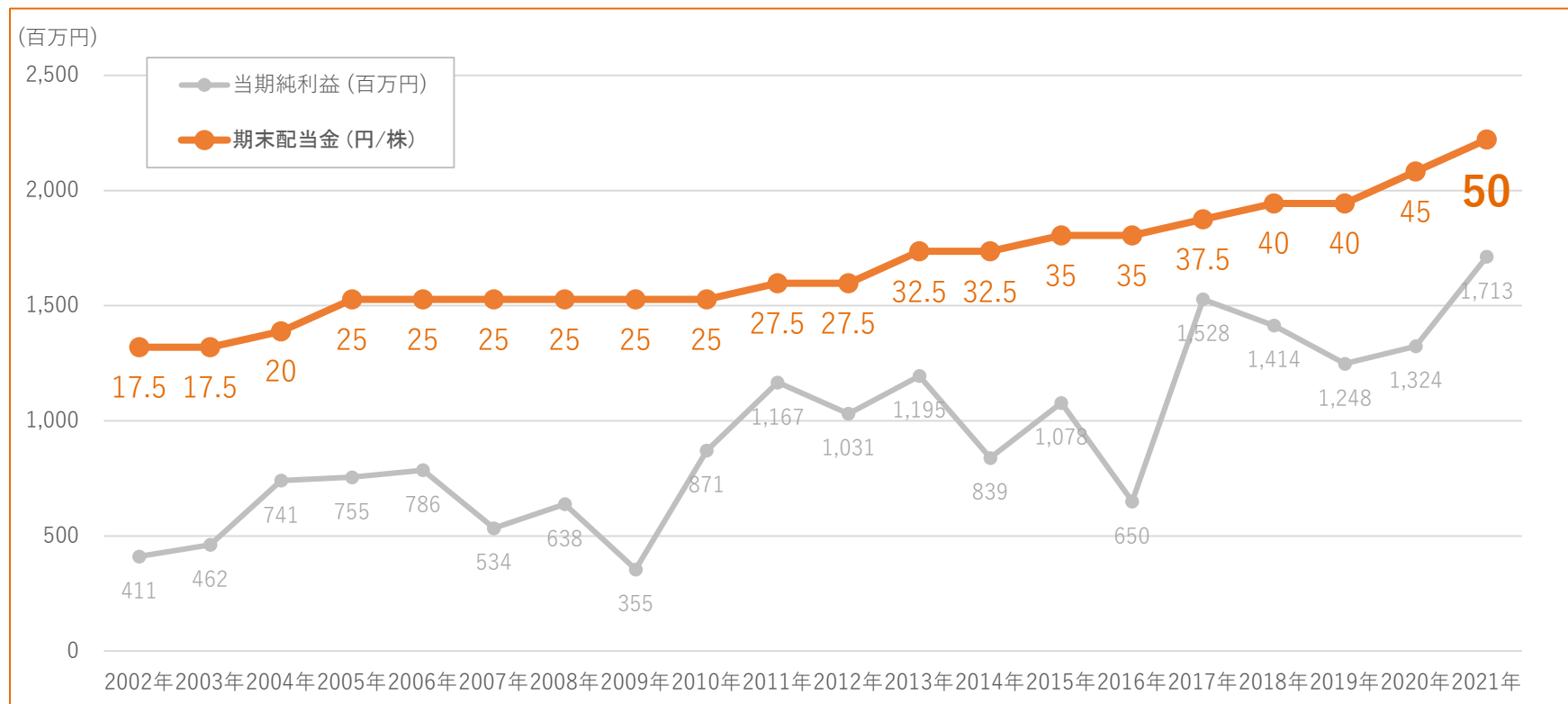
4. 成長戦略

5. サステナビリティへの取り組み

6. よくあるご質問 Q&A

3. 株主還元・株価推移

期末配当金ならびに当期純利益の推移



——過去20年間の安定配当

2017年7月1日に普通株式5株を1株とする株式併合、2019年1月1日に普通株式1株を2株とする株式分割を実施。それぞれ2002年の期首に行われたものと仮定して算定しております。

3. 株主還元・株価推移

株主優待制度

◆対象株主様

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元以上の株式を保有されている株主様

◆優待内容

定時株主総会終了後の毎年3月下旬に、決議通知等とともに次の基準の保有株式数に応じて、クオ・カードを贈呈させていただきます。



※絵柄は変更となる場合があります。

保有株式数	優待内容
400株以上	クオ・カード(3,000円分)
100株以上400株未満	クオ・カード(1,000円分)

3. 株主還元・株価推移

株価チャート



URL <https://www.daiwa.jp/market/stock/jp/?ric=4025.T>(大和証券提供)

本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 業績・財務状況

3. 株主還元・株価推移

4. 成長戦略

5. サステナビリティへの取り組み

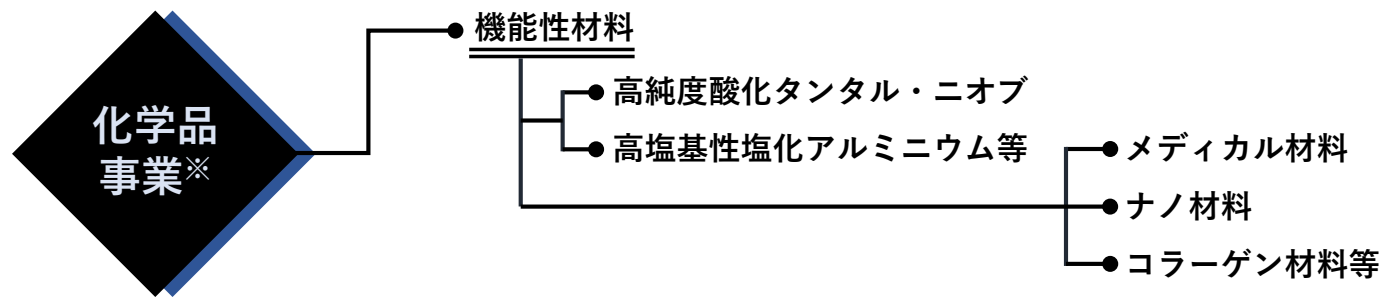
6. よくあるご質問 Q&A

4. 成長戦略

事業ポートフォリオ

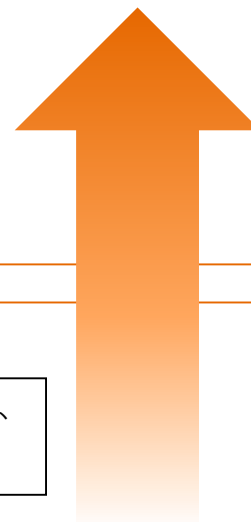
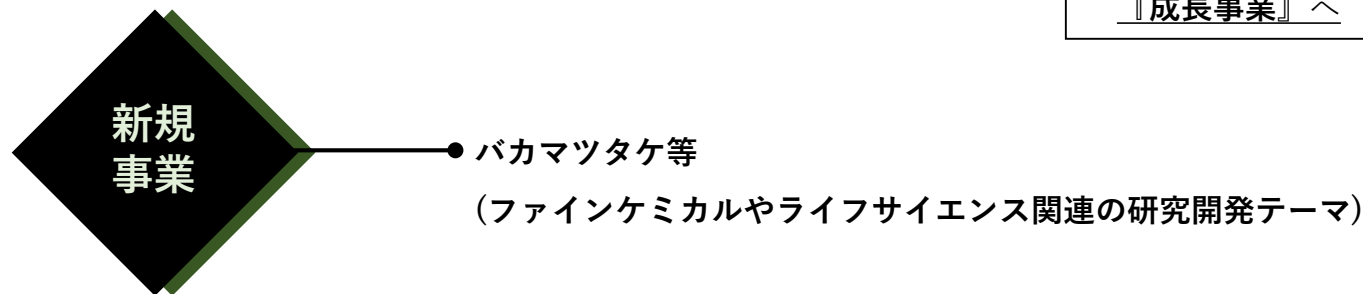
◆成長事業

成長市場において、社会課題解決に貢献する成長ドライバー



◆育成事業・新規事業

高付加価値な新規事業の創出と早期育成



※ 機能性材料

4. 成長戦略

全社的な収益成長のためのポートフォリオ管理

◆レジリエント事業

安定的な需要により、市況などの変動時においてもレジリエントな経営に貢献



効率化、合理化投資等により、
収益性の極大化
= 『レジリエント化』を図る

◆低収益事業 (= 課題事業)

既存のリソースを活かしつつ、新たな付加価値の獲得を検討
(価値の再獲得)



※ 水処理薬剤

4. 成長戦略

「中期経営計画2023」基本方針と基本戦略

1 成長事業への 積極的投資

- ◆ 「バカマツタケ」の生産・販売体制の早期確立および事業化
- ◆ 「メディカル材料」「コラーゲン材料」「各種酸化物ナノ材料」などの開発商品の新規用途への展開および事業拡大

2 既存事業の 収益力向上

- ◆ 「アグリ事業（肥料）」「化学品事業（水処理薬剤）」における生産性向上、コスト削減および提案型営業による販売力の強化
- ◆ 製品を通じた気候変動、環境負荷低減への貢献

3 経営基盤の 強靱化

- ◆ 「事業継続計画（BCP）」の継続的改善
- ◆ 「労働安全衛生マネジメントシステム」の構築・運用
- ◆ 労働環境の改善や生産性向上に関わる設備の更新・保全

4 コンプライアンス 経営の推進

- ◆ コンプライアンス教育およびコーポレート・ガバナンス体制の強化

4. 成長戦略

「中期経営計画2023」進捗について

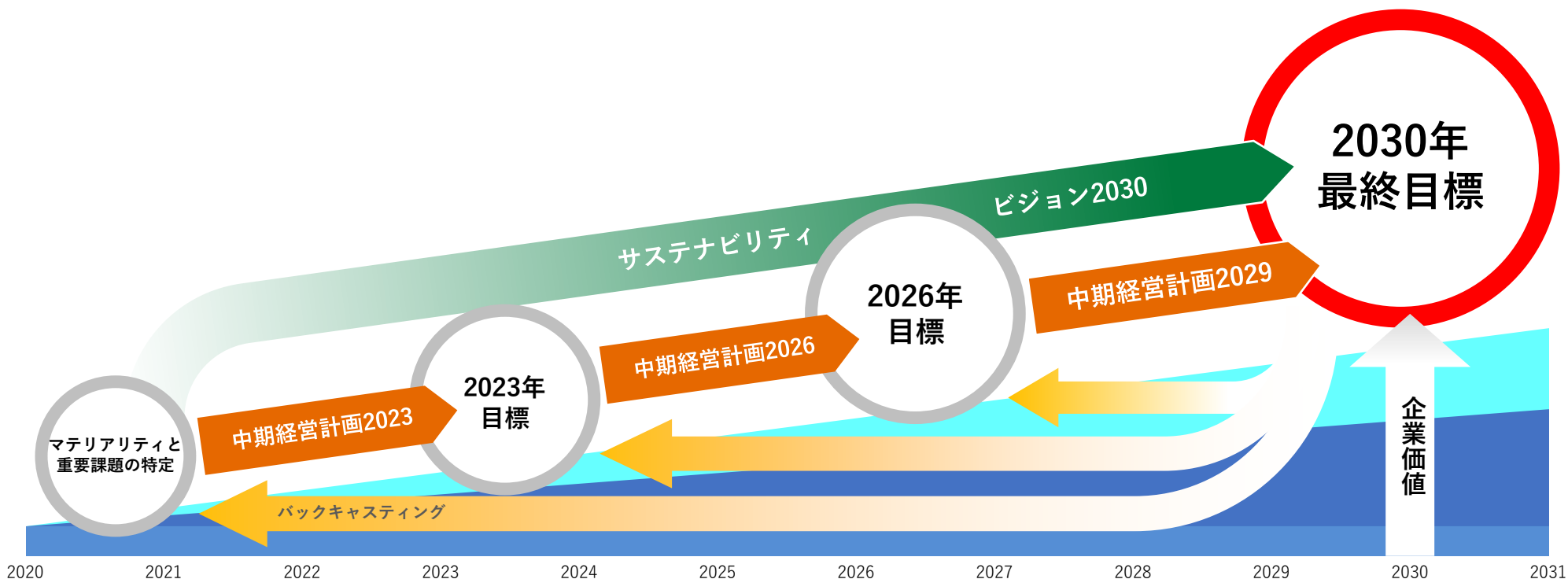
- ◆2021年度は、アグリ事業では肥料の値上がりを見越した駆け込み需要が発生
- ◆化学品事業の機能性材料ではスマートフォンや自動車に関連する製品を中心に大幅な需要回復
- ◆その結果、当社グループの業績は、中期経営計画最終年度の目標数値を上回る結果となりました。

	2021年12月期 実績		2023年12月期 (中期経営計画2023最終年目標)
売上高(百万円)	32,812	>	32,000
経常利益(百万円)	2,982		2,500
自己資本当期純利益率(ROE)	6.8%		6.0%以上

4. 成長戦略

今後について

- ◆ 気候変動対応を含めたサステナビリティ課題への積極的・能動的な対応をこれまで以上に強く推進するため、「サステナビリティビジョン2030」を中長期の取組方針として構築
- ◆ 3か年ごとの中期経営計画と連動させ、財務活動・非財務活動ともに計画的な進捗推進を図る



本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 業績・財務状況

3. 株主還元・株価推移

4. 成長戦略

5. サステナビリティへの取り組み

6. よくあるご質問 Q&A

5. サステナビリティへの取り組み

マテリアリティと重要課題

マテリアリティ	関連するSDGs	重要課題
1. 気候変動への対応		①資源・エネルギーの使用量削減と有効利用 ②3Rの推進と廃棄物の削減 ③事業継続性の強靱化
2. 製品・サービスを通じた環境と社会への貢献		④新製品・新技術の研究開発 ⑤環境配慮型、社会課題解決型製品・サービスの提供
3. 人権の尊重と人材育成		⑥人権尊重とダイバーシティの推進 ⑦人材育成と働きやすい職場づくり ⑧業務効率化と生産性向上
4. ガバナンスとコミュニケーション		⑨地域社会への貢献 ⑩コーポレート・ガバナンスの強化 ⑪コンプライアンス態勢の強化 ⑫コミュニケーションの充実 ⑬マネジメントシステムの統合管理

本日のご説明内容

1. 会社概要

2. 業績・財務状況

3. 株主還元・株価推移

4. 成長戦略

5. サステナビリティへの取り組み

6. よくあるご質問 Q&A

6. よくあるご質問 Q&A

Q1. バカマツタケの事業化の状況はどうなっていますか？

A1. 生物相手であることなどもあり、計画が遅れておりますが、事業化に向け、鋭意研究開発を継続しております。新しい情報につきましては、適切に開示してまいります。

Q2. 今後の具体的な新事業等の計画はありますか？

A2. 当社グループの長期的な発展を見据え、自社での研究開発のほか、事業提携やM&Aなどの情報収集、調査研究は進めておりますが、現時点でお知らせする情報はありません。

Q3. 温室効果ガス排出削減の取り組みはどうでしょうか？

A3. 本社工場では、重油から天然ガスへの燃料転換を既に終えており、カーボンオフセットガスの購入を始めております。2030年に2013年度比、38%の削減目標を設定して取り組んでおります。

Q4. 為替が大きく円安となっておりますが影響はどうですか？

A4. 円安の影響のみならず、原材料価格上昇に伴う影響があります。各種のコスト削減に加え、製品原価の上昇に伴う適時・適切な販売価格の是正などにより、収益確保に努めております。

Q5. 2022年度の決算の予想はどうですか？

A5. 原燃料高に伴う販売価格の上昇や販売数量の増加などにより、当初の業績予想を上回る見込みとなっており、既に業績予想の上方修正を発表しております。

ご清聴ありがとうございました。

※本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。また、将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。当然、予想と違う結果となることがあることを十分にご認識の上ご活用ください。